



2012年度の大会計測の方針について

(クラスルール計測委員会発表 2012/2/2)

日本OP第1-12-01

1. 大会計測のシステム

- ① 全日本選手権はIODA計測マニュアルに準じた計測(セール実計測・ハル重量 等)を実施します。
 - 2011年以降、世界選手権と大陸選手権(IODAイベント)は「MEASUREMENT AT IODA EVENTS」と言う大会計測マニュアルを手本として実施されるようになりました。検査の基本は従来と変わりありませんが、方式が標準化されたので、大会ごとに各国の考えで計測様式が変わると言うような差が少なくなりました。
 - 日本でも2013年にはIODAアジア選手権大会を迎え、本番ではマニュアル通りが要求されます。2012年以降の全日本大会は、このマニュアルに準じた(※100%マニュアル通りではない)大会計測を実施します。
 - ※「MEASUREMENT AT IODA EVENTS」及び和訳については、下記を参照して下さい。
http://japan-opti.com/rule/rule_file/measurer/rule_measurer_MEASUREMENTIODA2011.pdf
- ② 全日本(葉山)以外のJODA大会は簡易計測にてイヤーシリーズシステムを実施します。
 - 2012年のイヤーシリーズ適用大会は最終選考会(和歌山)、及び 東/西日本選手権 です。チームレース(広島・全てチャーター艇)は適用されません。

2. 海上計測におけるペナルティ・システムの変更について(経過報告)

- 1) 海上計測でのペナルティ・システムが2011年からPFP方式からDPI方式に変更されました。
 - PFP(Penalty of Five Points) 帆走指示書に明記する事により、審問なしに罰則を課す。
 - DPI(Discretionary Penalty Imposed) ジュリーの審問により、裁量による罰則を課すとの意味。
- 2) 2011年では東西日本大会、全日本(唐津)で、実施されましたが、選手、レース委員会、プロテスト委員会ともにご理解をいただき、スムーズに移行しました。

3. 2012年クラスルールについて

2月2日現在、まだ発表されておりません。現在はまだ2011年ルールが有効です。
IODA HPから発表され次第、計測HPに公表いたします。
(昨年場合は2011年2月1日より発効)